



共に育ち 共に学ぶ

～交流及び共同学習を進めています～



国、県ともに障害のある子どもと障害のない子どもとの交流及び共同学習を推進しています。交流及び共同学習では、障害のある子どもと障害のない子どもが共に活動する機会を通して、互いに理解を深め合い、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶことができます。

(令和3年度 秋田県教育委員会発行パンフレットより)

本校では、**地域の子どもとして、**
地域の子どもたちと自然にふれ合う関係を大切にしています。



交流の様子

令和4年度は、小学部21名
中学部13名が交流を行いました。



1 ねらい

- ・小・中学校での生活や学習を体験することで、地域の仲間と一緒に過ごす喜びや楽しさを味わいます。
- ・将来、生活基盤となる地域での、社会参加のきっかけづくりとします。

2 交流の形態

- ・本校の子どもたちの興味・関心や得意な面を踏まえ、小・中学校の学習活動の中で参加しやすい学習や行事に参加します。事前に、本校職員がゲストティーチャーとして交流校で事前学習（障害理解授業等）を行ったり、紹介カードや招待状を送り合ったりするなど、お互いの理解や当日に関わりの場面が増えるように両校で工夫しています。



3 進め方

- ・本校の子どもと保護者の希望を把握し、希望する小・中学校に連絡します。（※詳細は裏面）

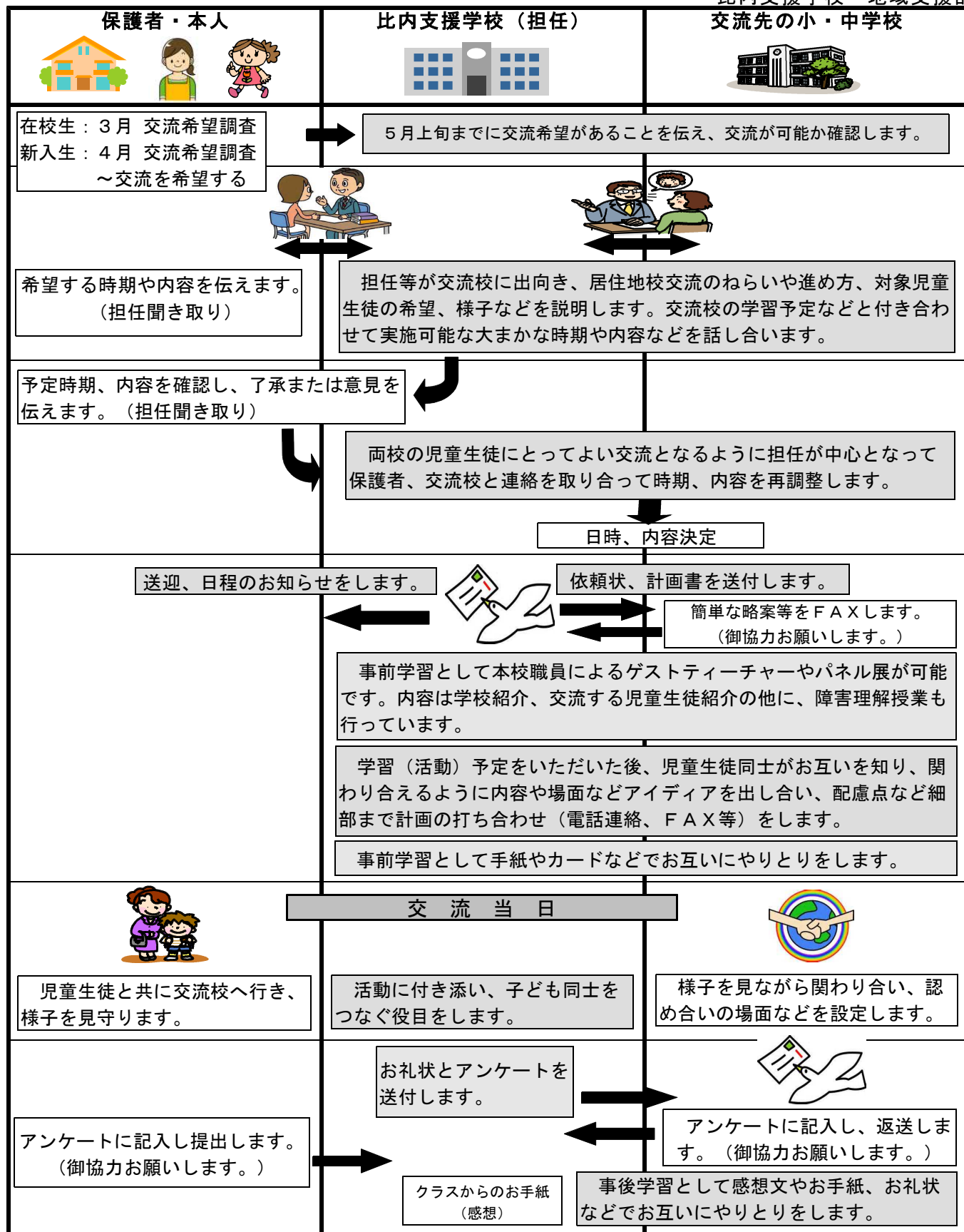
4 参加の仕方

- ・保護者と一緒に交流校へ登下校します。交流先では、学級担任と一緒に授業に参加します。
※保護者送迎を基本としますが、どうしても御都合が付かない場合は学校に御相談ください。

居住地校交流に、御理解と御協力をお願いします。

居住地校交流の進め方

比内支援学校 地域支援部



日程は、交流校、比内支援学校、保護者の三者間での調整となります。それぞれに予定がありますが、両校にとって実りある交流になるように調整しています。交流校及び保護者の方には、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。